

## 5. 在宅療養支援診療所について

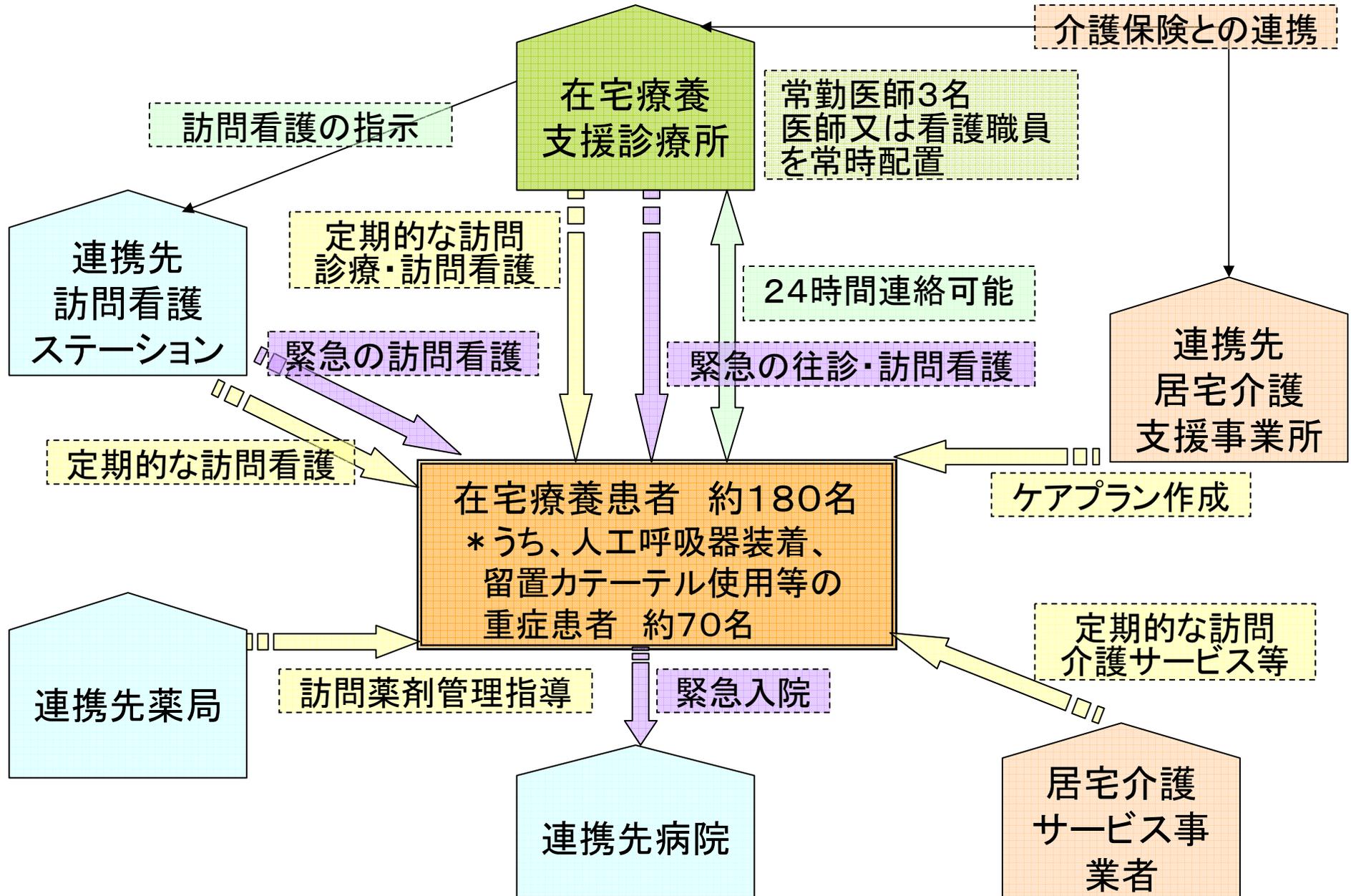
在宅療養支援診療所の届出状況 : 2006年7月1日現在届出総数 9,434件

### 在宅療養支援診療所の要件

- 保険医療機関たる診療所であること
- 当該診療所において、24時間連絡を受ける医師又は看護職員を配置し、その連絡先を文書で患家に提供していること
- 当該診療所において、又は他の保険医療機関の保険医との連携により、当該診療所を中心として、患家の求めに応じて、24時間往診が可能な体制を確保し、往診担当医の氏名、担当日等を文書で患家に提供していること
- 当該診療所において、又は他の保険医療機関、訪問看護ステーション等の看護職員との連携により、患家の求めに応じて、当該診療所の医師の指示に基づき、24時間訪問看護の提供が可能な体制を確保し、訪問看護の担当看護職員の氏名、担当日等を文書で患家に提供していること
- 当該診療所において、又は他の保険医療機関との連携により他の保険医療機関内において、在宅療養患者の緊急入院を受け入れる体制を確保していること
- 医療サービスと介護サービスとの連携を担当する介護支援専門員（ケアマネジャー）等と連携していること
- 当該診療所における在宅看取り数を報告すること 等

「在宅療養支援診療所」のイメージ

(仙台市内で看取りまで含めた在宅医療を行っている診療所の例)



## 6. 訪問看護ステーションの状況について

### 1. 訪問看護ステーションの事業所数

平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
4,730 (70.8%)	4,825 (73.5%)	4,991 (75.2%)	5,091 (77.1%)	5,224 (77.7%)	5,309 (78.6%)

※ ( )内は、緊急時訪問看護加算の届け出事業所の割合

※ 緊急時訪問看護加算・・・訪問看護ステーションが利用者又はその家族に対して24時間連絡体制にあり、かつ、計画的に訪問することとなっていない緊急訪問を必要に応じて行うことを評価するもの。

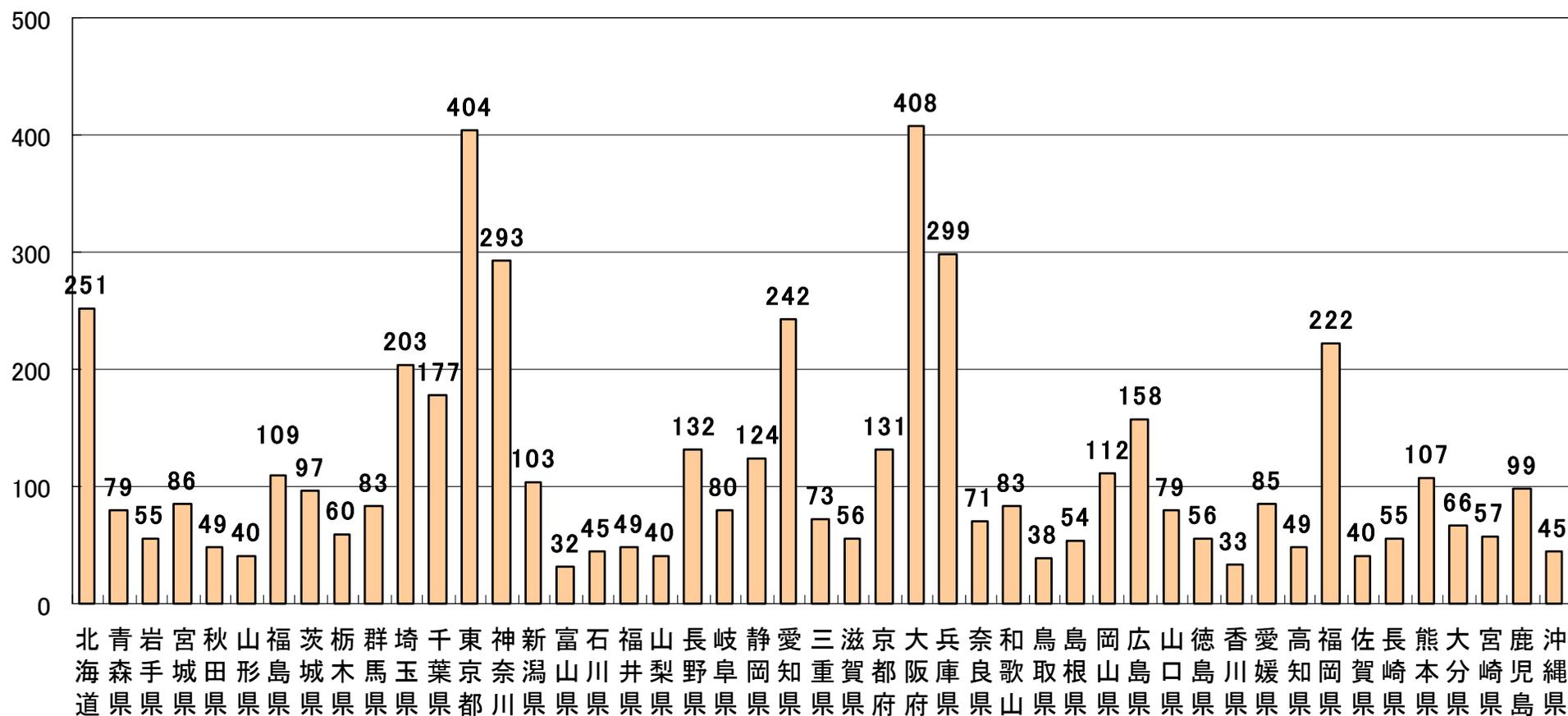
【資料】厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査 平成17年調査結果」

### 2. 従事者について

	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
1事業所当たり常勤換算従事者数	4.5	4.6	4.8	4.9	5.0
1事業所当たり常勤換算看護職員数	4.0	4.2	4.2	4.2	4.2
9月中の常勤換算看護職員1人当たり延利用者数	57.4	61.6	67.6	67.8	69.1

【資料】厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査 平成17年調査結果」

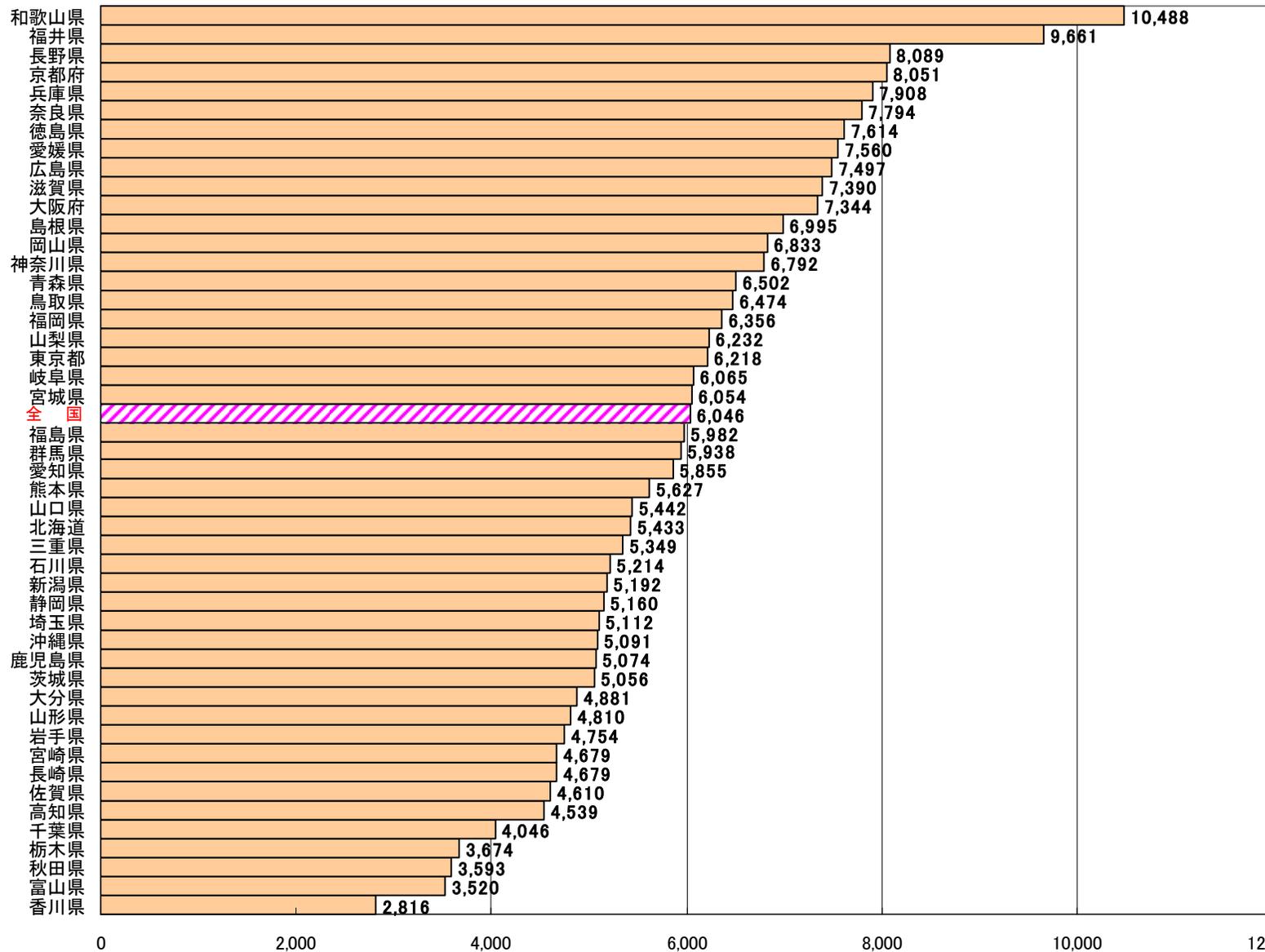
## 訪問看護事業所数、都道府県別



【資料】厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査 平成17年調査結果」

# 高齢者人口10万人あたりの訪問看護の訪問回数、都道府県別

平成17年9月



【資料】厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査 平成17年調査結果」

【資料】総務省統計局「国勢調査(平成17年)」

## 7. 海外関係資料

※文献及び聞き取り調査等による情報に基づいている。なお、日本との比較を前提としたイメージであり、各国内の地域差等により厳密ではない部分がある。

### オランダの概要

1 経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1968年より実施されている特別医療費補償保険は世界で最初の介護保険制度であると言われる。</li> <li>○ 当初はナーシングホーム等における長期医療等のみが対象だったが、その後給付範囲が拡大し、財政負担も増大している。</li> </ul>				
2 施設・居住サービスの類型	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="472 448 591 603">施設系</td> <td data-bbox="591 448 1966 603"> <ul style="list-style-type: none"> <li>① ナーシングホーム                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 重度者を対象に、24時間体制で介護・看護サービスを提供する施設。</li> <li>・ 看護師が常駐しているが、医師が常駐する場合もある。</li> </ul> </li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="472 603 591 932">住宅系</td> <td data-bbox="591 603 1966 932"> <ul style="list-style-type: none"> <li>② 高齢者ホーム                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 軽度～重度の高齢者を対象とするケア付き集合住宅。</li> <li>・ 医師、看護師は常駐せず、介護職員が常駐する。必要に応じ外部の医療サービス等を利用。</li> </ul> </li> <li>③ シェルタードハウジング                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主に自立高齢者を対象とする集合住宅。</li> <li>・ 職員は常駐しない場合が多い。必要に応じ外部の医療・介護サービス等を利用。</li> </ul> </li> </ul> <p>(注) 一律の人員配置基準は存在せず、利用者の状態に応じて職員の加配等を行う。</p> </td> </tr> </table>	施設系	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ナーシングホーム                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 重度者を対象に、24時間体制で介護・看護サービスを提供する施設。</li> <li>・ 看護師が常駐しているが、医師が常駐する場合もある。</li> </ul> </li> </ul>	住宅系	<ul style="list-style-type: none"> <li>② 高齢者ホーム                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 軽度～重度の高齢者を対象とするケア付き集合住宅。</li> <li>・ 医師、看護師は常駐せず、介護職員が常駐する。必要に応じ外部の医療サービス等を利用。</li> </ul> </li> <li>③ シェルタードハウジング                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主に自立高齢者を対象とする集合住宅。</li> <li>・ 職員は常駐しない場合が多い。必要に応じ外部の医療・介護サービス等を利用。</li> </ul> </li> </ul> <p>(注) 一律の人員配置基準は存在せず、利用者の状態に応じて職員の加配等を行う。</p>
施設系	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ナーシングホーム                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 重度者を対象に、24時間体制で介護・看護サービスを提供する施設。</li> <li>・ 看護師が常駐しているが、医師が常駐する場合もある。</li> </ul> </li> </ul>				
住宅系	<ul style="list-style-type: none"> <li>② 高齢者ホーム                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 軽度～重度の高齢者を対象とするケア付き集合住宅。</li> <li>・ 医師、看護師は常駐せず、介護職員が常駐する。必要に応じ外部の医療サービス等を利用。</li> </ul> </li> <li>③ シェルタードハウジング                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主に自立高齢者を対象とする集合住宅。</li> <li>・ 職員は常駐しない場合が多い。必要に応じ外部の医療・介護サービス等を利用。</li> </ul> </li> </ul> <p>(注) 一律の人員配置基準は存在せず、利用者の状態に応じて職員の加配等を行う。</p>				
3 財源・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保険料財源</li> <li>○ 利用者負担については、資産調査を経て、所得・世帯構成等を考慮して決定される。 (保険料 91.3%、利用者負担 8.7%) (2004年度)</li> </ul> <p>※料率の推移：0.4%(1968)→5.4%(1990)→9.6%(1998)→13.45%(2005)</p>				
4 事業主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 民間非営利団体による運営が多い。</li> </ul>				
5 整備状況等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高齢者人口(2000)の7.8%             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ナーシングホーム 2.7%</li> <li>・ 高齢者ホーム 5.1%</li> <li>・ シェルタードハウジング 1.0%</li> </ul> </li> </ul>				

【資料】医療経済研究機構「要介護高齢者の終末期における医療に関する研究報告書」(2002)  
 日本総合研究所「介護施設等の費用体系に関する総合調査報告書」(2004)  
 医療経済研究機構「オランダ医療関連データ集2004年版」(2005)等